

フェアウェイウッド
FWは“狙う”クラブだからこそ

ここまで方向性を
謳ったシャフトが
あったらどうか…

狙えなきゃ
意味ないよねえ

とにかく
真っすぐを追求

USTマミヤ

[リンク]

LIN-Q
EX FW/HY

ハードヒッターを中心に好評だった
ドライバー用シャフト「LIN-Q(リンク)」のFW、
HY専用シャフトがこの度リリースされた。

飛距離を謳うシャフトが多いなか、
これは「曲がらない」を声高に宣言する。
そのテクノロジーと実力を掘り下げていった

写真 / 三木崇徳、有原裕晶
協力 / NIKKA5、銀座ゴルフフレンジ

曲
が
最
強
だ
！
が
ら
な
い

高さや飛距離は
ヘッドに任せた！
シャフトは“狙える”
ことが一番大事

飛ぶことよりも「曲がらない」が重要

USTマミヤという「アッタス」が主要ブランドであることは間違いない。初代から数えて14代、アッタスの系譜は受け継がれてきた。そのUSTマミヤが昨秋、国内市場に追加したのがこの「LIN-Q」(リンク)だ。こちら、2019年から、

PGAツアー用に開発され、その後日本に入ってきた「逆輸入」シャフト。しつかりしたシャフトで、いわゆるパワーヒッター用という印象があったが、この度「リンク」の流れをくむフェアウェイウッド用とハイブリッド用が登場した。基本コンセプトはドライバーと変わりないのだが、メーカーは「とにかく曲がらない」と

技術で「曲がらない」を実現させた

「しなり感」と「しつかり感」はマミヤにしか出せない!

謳う。その理由は、素材はもちろんのこと、繊維の配合などで独自のノウハウを生かし、剛性やトルクなど、細かなところに大きなこだわりを持って作ったことだという。結果、パワーヒッターが振りにいっても左が怖くない、真つすぐ、飛んでいくシャフトが完成したのだ。だからといって、アベレージゴルファーが使えないかというと、決してそうではないと試打担当

の鈴木貴也プロ。「しつかりしているといってもしならないということではない。シャフトを自分でしならせられる人は、こういう素直なシャフトはタイミングがとりやすい。そういう意味では、たとえばヘッド速度がそれほどなくても、上手く手首を使いながら振っていく人には合うと思います。打つてわかりましたが、これ、本当に真つすぐしか行かないですよ」

「どれだけ振っても左に飛ばない。これはスゴイ!」

試打 鈴木貴也



すぎたかや。銀座ゴルフフレンジを中心にレッスンを行う。ドライバーのヘッド速度は52m/sのパワーヒッター。今回はハードヒッター向けシャフトということで、自身のHSで打ってもらった



特徴1 持った感じのしつかり感が強い

「ワググルをした瞬間に、しつかりしている感じが伝わってきます。先が硬いので、急激にヘッドが返るなどの心配はまったくありませんね」

特徴2 切り返してしなりを多く感じる

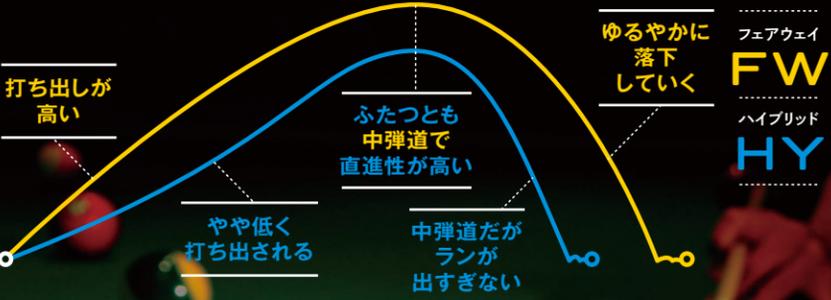


「切り返しのしなり感は心地よい。スウィング中は結果的にこれが「間」になるので、しつかりしているのにしなりというのは、安心材料ですね」



特徴3 とにかく左が怖くない!

「振りにいっても左に飛ばないのはありがたい。とくにハイブリッドはつかまりやすいので、左のミスが怖い。シャフトで解決してくれるのは嬉しいですよ」



「決してパワーヒッターだけのものではありません」

自分でタメを作れる人は合う



「たとえばヘッド速度が遅くても、手首を使うスウィングの人はシャフトを自らしならせられるので合うと思います。パワーヒッターだけのシャフトではないので、試す価値はあると思いますよ」

リリースが早いと合わない



	LIN-Q EX HY	LIN-Q EX FW
ヘッド速度	43.6m/s	45.3m/s
ボール初速	59.2m/s	63.5m/s
打ち出し角	14.8度	16度
スピン量	5038rpm	4278rpm
キャリー	211.7Y	227.5Y
トータル	227.4Y	242.6Y



ヘッドは「FW」がコブラ「ダークスピードX(5W)」。 「HY」がコブラ「キングテック ユーティリティメタル(21度)」
ナイスショット5球の平均 (FWはロフト18度の65S、UTは21度の85S)

HY(ハイブリッド)専用シャフトもラインナップ

重量は75、85、95。それぞれSとXが用意されている

女子プロも続々テスト中!
ドライバーにアッタスやリンクのシャフトを入れている女子プロは続々とニューシャフトをテスト中。原や桑木はパワーヒッターの印象があるが、一方でリ・ハナのような選手も試合投入に向け、現在テストをしている



桑木志帆 原英莉花

リンクの特徴1

手元にほどよいしなりを感じる

マミヤ独自のノウハウで繊維を配合し、最も効率よく組み合わせることで、ほどよいしなり感を出している。かといって、しなりすぎることはないため、タイミングも合わせやすい。アッタスシリーズよりもしつかり感がある

リンクの特徴2

全体的にトルクを締めている

全体のトルクを抑えることで「余計なしなり」が発生しにくく、素直な挙動を描きやすい。スウィング中のシャフトのコントロールがしやすい。また、クセがないため、多くのゴルファーに対応していると言える

リンクの特徴3

先端を硬くしてヘッドを暴れさせない

高弾性の炭素繊維(トレカ[®]M40X)を先端に配置することで先端部の剛性を高めている。ヘッドが暴れないことはもちろん、強いインパクトを実現。直進性の高い球をシャフトで打たせてくれる

狙ったところにしつかり落とせる!

LIN-Q 結果だけでなく振り心地も追求した